

いなかふ 議会広報

令和3年5月発行



令和3年度村教職員着任式

No.

166

第1回臨時会・第2回定例会

- 新型コロナウイルスワクチン接種準備進む

故 相川繁治 前村議会議長を偲んで

村政執行方針質疑

教育行政執行方針質疑

一般質問1議員

- 新型コロナワクチン接種、対象高齢者3月中資料送付
- 農協、占冠退去後の建物活用未定

予算特別委員会



《 議会広報や議事録全文は
村ホームページでご覧になれます。

▶新型コロナウイルス ワクチン接種準備進む

令和3年第2回定例会は、3月5日から11日まで7日間の会期で開催され、1名の議員が一般質問をしました。また、村政・教育行政執行方針の説明・質疑を行いました。条例の改正や、令和2年度各会計補正予算等の審議が行われ、原案どおり可決しました。

令和3年度各会計予算については、予算特別委員会（下川委員長）に付託し、10日に審査・可決されました。

（傍聴 5日2人 8日0人 9日0人 11日0人）

指定管理者を指定

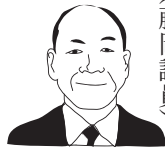
●湯の沢保養施設

株式会社スポーツピア占冠を令和3年4月1日から3年間指定

質疑

問 昨年までの指定管理者と名前が変わっている背景と期待される効果を伺います。

（藤岡議員）



三浦企画商工課長

従来、株式会社スポーツピアを指定管理者としていましたが、占冠に根差した会社を立ち上げたいというお話があり、スポーツピア占冠という会社に指定管理者として応募していただいたという形になっています。本社が占冠村になりますので、税制面で村の納入分が発生します。

●トマム給油所

一般社団法人トマムスタンドを令和3年4月1日から3年間指定

●占冠村自然活用村

NPO法人占冠・村づくり観光協会を令和3年4月1日から1年間指定

●占冠村小規模多機能型居宅介護施設

社会福祉法人占冠村社会福祉協議会を令和3年4月1日から3年間指定

条例等の改正・廃止

●占冠村国民保護計画の変更

国が定める「国民の保護に関する基本計画」及び北海道が定める「北海道国民保護計画」の変更に合わせて、字句の修正・統一化を図るものです。

●占冠村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

「子ども・子育て支援法」の改正に伴い、所要の改正を行うものです。

●占冠村国民健康保険条例の一部改正

新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

●占冠村介護保険条例の一部改正

第8期介護保険運営期間中の保険料額の設定等、条例の一部を改正するものです。

●占冠村道の構造の技術的基準に関する条例の一部改正

道路法等の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

●占冠村水洗化等促進対策特別利子補給金条例の廃止
下水道事業計画面積全ての整備が完了し、当初の目的が達成されたことから、本条例を廃止するものです。

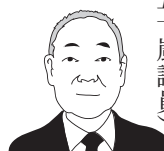
令和2年度補正予算

質疑

【一般会計（第9号）】

問 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の内容を伺います。

（五十嵐議員）



小尾住民課長

ワクチン接種委託料は494万4千円で、全て国費となっています。また、接種者の送迎委託料や、公用車のリース料等も計上しています。ワクチン接種は4月26日開始予定として準備を進めています。接種の優先順位は、医療従事者、高齢者からとなり、対象者には意向調査を行います。ワクチン供給体制は、南富良野町と協定を結び、ワクチン管理と同時進行で行うよう、実施に向け準備をしていきます。

令和2年度 補正予算

～令和3年第1回臨時会～

一般会計(第7号) 200万円増

総額28億4,560万円⇒28億4,760万円
・新型コロナウイルスワクチンクーポン券印刷業務の増など

一般会計(第8号)

歳入科目の組替え

令和2年度 補正予算

～令和3年第2回定例会～

一般会計(第9号) 6,860万円減

総額28億4,760万円⇒27億7,900万円
・外食産業におけるインバウンド需要回復緊急支援事業補助金の減など

国民健康保険(第4号) 1,040万円減

総額1億6,410万円⇒1億5,370万円
・一般被保険者療養給付費の減など

村立診療所(第2号) 10万円増

総額8,440万円⇒8,450万円
・医療機器更新の増など

簡易水道(第1号) 10万円減

総額1億2,110万円⇒1億2,100万円
・占冠浄水場外機械電気更新工事の減など

公共下水道(第1号) 120万円減

総額9,170万円⇒9,050万円
・個別排水処理施設設置工事の減など

介護保険(第4号) 840万円減

総額1億1,520万円⇒1億680万円
・介護サービス等諸費の減など

後期高齢者医療(第2号) 20万円増

総額1,850万円⇒1,870万円
・保険料等負担金の増

一般会計(第10号) 530万円増

総額27億7,900万円⇒27億8,430万円
・村道除排雪機械等借上料の増など



意見書を提出

市民の声を国政の場に

○米の需給改善と米価下落の歯止め策を求める意見書

問 林業作業道等草刈業務委託料が45万円減額している理由を

小尾課長 インフルエンザや、今回のコロナワクチン予防接種の副反応が出た際の原因究明の委員会となります。保健所の所長等4名程で構成される委員会であり、従前から設置されています。



(下川議員)

問 予防接種健康被害調査委員会委員報償金18万円を増額していますが、内容を伺います。

伺います。

(五十嵐議員)

追加議案

●調停条項の一部変更

新型コロナウイルス禍の状況に鑑み、札幌地方裁判所平成28年調停申立事件に係る調停条項の各物件の買取期限を平成33年4月15日までは令和4年3月31日までと変更するものです。

●和解及び損害賠償の額の決定について

令和3年2月16日、村営バス等を格納している大型車庫シャッターが強風に煽られ、一部が脱落し、駐車していた車両に落下し損傷を与えた。

損害賠償額 25万2274円

質疑

問 賠償する車両は、大型車等が入り込む箇所に駐車しています。今後のことも含めて、該当箇所を駐車禁止にするなど未だの事故防止を考えるべきと考えますが、伺います。

多田総務課長 今回の事故は、2月16日の低気圧の通過による強風によるものです。当日は吹き溜まりが相当あり、本来の駐車すべき場所に駐車することができなかつたことから、雪の多いシャッター前に駐車したと聞いています。今後は、事故が起

●令和2年度一般会計補正予算(第10号)

質疑

問 総務管理費の需用費127万円の内容を伺います。



(大谷議員)

多田課長 自然災害による大型車庫シャッターの修繕料です。

このことを想定し、注意喚起等を行います。

第1回 臨時会・村長の行政報告

村長の行政報告

① 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス接種は、厚生労働省より令和3年2月17日から令和4年2月末までの期間において順次実施されるとの発表がされています。

現在のところ、国から正式なスケジュールは示されていませんが、65歳以上の高齢者に対するワクチン接種を遅くとも4月中には開始したいとの報道がされています。

村としては、3月中にワクチン接種の対象者に対して説明資料等を送付したいと考えていますが、村独自の意向調査も実施し、必要なワクチン数量の確保と接種スケジュールの調整など、村立診療所との綿密な協議体制の下、事前のシミュレーションを行い、適切かつ確実なワクチン接種を行っていきます。

② アスペン市との姉妹都市交流について

占冠村がアメリカ合衆国コロラド州アスペン市と姉妹都市提携をしてから、今年で30年を迎えます。

えます。

本来であれば、昨年11月にアスペン市を訪問し、記念事業への来訪などについて直接説明する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、延期しました。

アスペン市長から、30年にも及ぶ両者の交流が成功していることは誠に素晴らしいことであり、両者間のパートナーシップはゆるぎないものであること、交流事業は関係者の検討を待ちたいとのメッセージが写真集、アスペンリーフのオナーメントと共に届けられました。

③ 発達した低気圧の通過による暴風雪の影響について

2月16日夜から17日にかけて通過した低気圧の影響で道内各地において、暴風雪被害があり、本村においても交通障害、倒木、停電等の被害がありました。

交通関係では、JR石勝線の運休、道東自動車道、国道237号、道道夕張新得線が吹雪により通行止めとなり、村営バストマム線を運休しました。



児玉新議長を囲んで

停電、倒木等被害では、暴風による役場大型車両庫庫のシャッター及び壁の破損、占冠中学校において倒木による停電があり、避難所用発電機を作動させて対応しました。

スキー場においては、場内での倒木により現在も第2リフトの運行を中止しています。

また、富良野消防署占冠支署の協力を得て、村内独居高齢者の安否確認を実施しています。

幸い、人的被害はありませんでしたが、今後も関係機関と連携し、村内の安全を確保していきます。

第1回臨時会

令和3年第1回臨時会は、2月9日に開催されました。相川議員の議長辞職に伴い、新議長に児玉議員が当選しました。

また、専決処分の承認

や、補正予算の審議等が行われ、原案どおり可決しました。(傍聴 1人)

人事案件

○ 監査委員の選任同意

字上トマム 下川 園子氏

〈専決処分の承認〉

令和2年度補正予算

質疑

【一般会計(第7号)】

問 新型コロナウイルスワクチン接種の今後の具体的取り組みについて伺います。(五十嵐議員)

小尾住民課長

4月から開始し、先に医療従事者、次に65歳以上の高齢者の順で、国の指示の下、順を追って対処します。一般の住民の方の接種は5月以降になる予定です。

問 委託料のクーポン券印刷業務の内容を伺います。

小尾課長

優先順位とされる方々へ、クーポン券と予診票、接種日、副反応が懸念される旨の印刷物等を郵送します。

問 コロナワクチンを接種したくない住民がいた場合の対応を伺います。(藤岡議員)

小尾課長

コロナに罹患するよりはワクチン接種をということですが、副反応を懸念される場合は任意接種ですので、住民個人の判断によります。

【一般会計(第8号)】

問 村民税(法人)は減収補填債に、固定資産税は猶予特例債に組み替えた理由を伺います。

(小林議員)

多田総務課長

村民税(法人)は申告しない旨の連絡があり減額、固定資産税は1年間の猶予期間を設けています。

故 相川 繁治 前村議会議長を偲んで

令和3年2月27日に83歳でご逝去された
相川前議長に謹んで哀悼の意を表します



議 員	
平成元年4月9日から平成11年4月30日まで	
平成15年5月1日から5期連続	
合計27年11カ月	
議 会 役 職	
1期目 総務常任委員	
2期目 総務常任委員	
3期目 総務常任委員長、議会運営委員、開発特別委員	
4期目 副議長、産業常任委員、議会広報特別委員	
5期目 副議長、産業常任委員、議会運営委員、議会広報特別委員、学校給食組合	
6期目 議長	
7期目 議長	

故相川議員は任期中数多くの一般質問をしており、一部抜粋して過去を振り返ります。

過去の質問から



表 彰	
8期目 議長、富良野広域連合議会議員、総務産業常任委員	
■平成20年度 全国・北海道町村議会議長会自治功労者表彰 (自治功労議員15年以上)	
■平成26年6月5日 北海道町村議会議長会自治功労者表彰 (自治功労議員25年以上)	
■平成30年度 全国・北海道町村議会議長会自治功労者表彰 (自治功労議長7年以上)	
■令和3年2月9日 全国町村議会議長会自治功労者表彰 (自治功労議員27年以上)	

○交通安全対策

(平成元年6月定例会初質問)
トマム地区の人口増に伴い十字路に信号機の設置が必要と思う。通学路でもあるので、事故の起きないうちに、信号機を設置する考えがあるか伺いたい。

○高齢者福祉対策

(平成23年3月定例会)
占冠村総合計画に、多目的福祉施設の建設と載っています。計画に至った経緯と今後の計画を伺います。村民の意識調査を当然するべきです。在宅介護をしている方や、独居で高齢の方の意見を聞くべきと考えます。



初当選した頃の相川議員

追悼の言葉

2月27日、故相川繁治前議長のご逝去に、議員一同、何とも悲しく切ない思いに、しばし言葉を失いました。心からご冥福をお祈りいたします。

故相川前議長は、平成元年4月本村議会議員補欠選挙に立候補し初当選の栄冠を勝ち取ら

れ、通算27年11カ月の長きにわたり地方自治の振興、住民福祉の向上のため、活躍をされました。

総務産業常任委員、議会運営委員、広報特別委員を経て、4期目からは副議長、6期目からは議長の大任を担われてきました。8期目である今期は、本議会議長と共に富良野広域連合議会の議長の仕事も担われていました。

また、平成30年度には、村内中学生と議会議員との交流の場であるCS議会を創設され、令和2年度には、占冠村議会災害時業務継続計画(BCP)の基礎を構築されるなど、数多くの功績を残されました。

長年にわたる地方自治の大きな功績に対し、全国町村議会議長会及び北海道町村議会議長会より数多くの表彰を受けるなど、多くのご活躍とご功績は誠に顕著なものがございました。

占冠村議会議長を3代務め、議会議員のお手本といえる人格者であり、同僚議員としてまだまだご活躍、ご指導していただきつつありますが、誠に残念でなりません。

占冠村議会、占冠村の今後の発展をどうか見守りください。

議員一同、安らかなご冥福をお祈りいたします。

占冠村議会議長 児玉 眞澄

村政執行方針質疑

▼主な施策

1 未来を拓く村政

- 地方自治の推進
- 新型コロナウイルスワクチン接種
- 公共的空間の安全・安心確保
- 切れ目ない行政事務の確保
- 持続可能な林業経営
- 教育環境の整備
- コロナ後の対策
- 人材育成

2 経済循環が図られる 基幹産業の振興

- 酪農・畜産・畑作振興
- 担い手対策
- 村有林の管理・経営
- 私所有林の育成支援
- 林業事業体への支援
- 林業の六次産業化
- 国有林との連携
- 商工振興・トマムリゾート
- 道の駅・湯の沢温泉
- 体験型観光の推進
- ニニウキャンプ場・宿泊税・労働

3 地域特性を活かした 集落対策、移住・定住・ 関係人口の拡大

- 移住・定住

下川 園子 議員

1 道東道の4車線化工事

問 開始時期とスケジュールについて伺います。

田中村長 トマム占冠IC間の高速道路の施工命令は出され、用地買収・測量、地質調査、環境影響評価等、事前に行う手続き等が行われる予定です。工期は、10年から15年かかるだろうと想定されているようです。

問 工事における人口増の見込みについて伺います。

田中村長 一時的に事業者が宿舎を建て、事業を行いますので、定住人口が特別増えることではないと思います。

ただ、道路条件が改良されることにより、さまざまな産業が生まれてくる可能性や、定住人口増にもつながる要素も秘めていると思います。

2 人材育成制度

問 新しい人材育成制度の構築は、どのような職種、分野を検討しているのか伺います。

田中村長 医療や福祉専門職などで、持続可能な地域にするために必要不可欠な有資格者の確保につながる制度にできないかと考えています。

3 ニニウキャンプ場

問 廃止に向けた合意形成は進んでいないと感じますが、どのようなスケジュールで進めていくのか伺います。

田中村長 昨年来、広報等を通じて廃止の方向で検討をしていることをお知らせしていますし、事業者にも方向性を示してきています。今の財政状況と、将来の負担等を考えたときに、ニニウキャンプ場が将来に渡って必要な施設かどうかという選択をしなければならぬ時期だろうと思っています。

施設を維持していくということとは、新たな投資と解決しなければならぬ問題も多く、道路のインフラや、災害対応、立地的な問題などがあります。

試算では、水施設の総工事費が2億2500万、毎年の水道施設管理に数百万円かかります。さまざまな機会を通じて、

説明をしながら整理をしていきたいと考えています。

ニニウキャンプ場



4 地域交通

問 現在の交通体系は、利用条件が限られるものもあります。課を渡つての一括した村の交通として検討が可能なのか。その上で効率性、利便性を検討するのか伺います。

田中村長 今の地域交通では、障がい者、要介護認定等を受けた病院通院者がむらびと交通でも行けない空白地域があります。社協の地域有償運送事業では自己負担が多いため、むらび

と交通並みの料金で、例えば、札幌や千歳などに公共交通空白地有償運送事業を使い、使用に対する費用の二分の一を村が助成し、枠を広げながらさまざまな交通弱者に対する支援をしていこうと予算計上しました。

大谷 元江 議員

1 農業支援

問 新たな芽が育っている占冠村の農業に必要な支援をどのように考えているのか伺います。

田中村長 放牧預託事業・各種補助事業・振興資金貸付、昨年からは中山間地域直接支払支援等を農業者の方々と協議しながら、内容の変更も進めています。

2 農業担い手対策

問 新規就農者に対しての土地確保の考え方を伺います。

田中村長 農業次世代投資事業補助金を経営開始直後の新規就農者に間接補助し、農業者が使い勝手の良い支援策の環境を整えているところです。

土地の確保は、農地の集約化

● しむかつぷ・村づくり寄附金
● 国際交流

4 安全で安心な暮らしを守る基盤づくり

● 道路・村営住宅
● 上下水道・環境衛生
● 地域交通・地域協働への取組
● 防災対策

5 地域医療の充実と住民ニーズに即した福祉施策

● 高齢者福祉・障がい者福祉
● 保健・医療

6 未来を託す子ども環境づくり

● 子育て支援環境の整備
● 多様化する教育環境に対応した体制整備
● 特色ある教育

7 行財政の概要

※執行方針の詳細は、村広報4月号に掲載されています。



や土地の賃貸借の調整を含め、農業委員会を通じて営農できる体制を考えています。

3 ワクチン接種の情報公開

問 新型コロナウイルスワクチン接種までの工程、高齢接種者の移動手段等、村独自での情報公開はされないのか伺います。

田中村長 正確な情報が出せない状況ですが、内容を検討してお知らせするようにします。

高齢接種者への移動手段は予算措置していますので、個別にお知らせして対応します。

4 地域防災

問 地域防災力を高めていく方法を伺います。

田中村長 地域防災力とは、防災に関わる専門員の育成、地域防災組織の組織化等、行政区ごとの防災に関わる活動を高めることと思っています。災害時には、自助・共助が大事で、避難する場合には多少食料と身の回り品を持つなどの習慣づけ、早期の避難指示を定期的に話をしていきたいと思っています。

5 千歳橋の改善要望

問 通勤・通学・買い物等の社会的インフラにおいて、千歳橋の歩道は交通量が多く、大変危険です。特に、冬期間は歩道が狭くなりますが、改善要望について伺います。

田中村長 千歳橋については、道路の改善とともに開発局への要望事項に含めています。引き続き、不安解消、危険解消に向けて要望活動をしていきます。

6 ごみの減量化

問 ごみ分別を徹底し、埋め立てごみを減量化しなければいけません。分別されずにステーションに残されているごみもあるようですが、住民への周知の考えを伺います。

田中村長 ごみ分別についての定期的な説明会の開催や、広報での周知、ごみ分別辞典の配布なども行っていますが、より細やかな周知が不足していると感じています。ごみステーションに残されたごみについては、巡回し、現状を調査して改善に努めます。

藤岡 幸次 議員

1 持続可能な地域づくり

問 コロナ禍の影響を受けた各関連事業者に対する具体的な支援策について伺います。

田中村長 今後、商工会と連携しながら、占冠村感染防止対策支援金と事業継続支援金を、それぞれ一回実施する検討を進めています。

問 経済循環を高め、地域資源を活用した雇用の創出とありますが、内容を伺います。

田中村長 占冠村には農業生産物、山菜、林産物など多くの資源があり、山菜では民間との連携を図り進めていきます。木質バイオマス、メープルシロップも同様に、雇用の創出につなげていきたいと思っています。

2 農業・林業

問 道営草地畜産整備事業の改良・造成、令和4年4月からの供用開始に向けた哺育育成舎の本格的な施設整備について、内容を伺います。

田中村長 草地整備では、5戸で27.5haの整備を計画して優良な飼料の生産が進むと考えています。

また、哺育育成舎は預かりを生後3日から20か月としており、5市町村一体となった取組みで各農家規模に応じた利用で、労働負担の軽減も図られると考えています。

問 林業の六次産業化の現在における課題と成果を伺います。

田中村長 薪生産は、本年度販売総額が、平成27年の5倍とな



歩道の狭い千歳橋

る290万円を見込んでいます。

3 湯の沢温泉

問 湯の沢温泉施設の老朽化の進む配管等の整備についてはどのように進めるのか伺います。

田中村長 昭和54年の完成後、経年劣化が進んでいる状況です。今後、宿泊税などの財源確保ができれば、大規模修繕も進めていけるのではと考えています。



湯の沢温泉

4 しむかつぶ・村づくり 寄附金

問 当初目標予算の200%の要因を伺います。また、今後の取組みについて伺います。

田中村長 トウモロコシ、ゆり根、メーブルシロップ、リフトシーズン券などが人気商品で順調に推移しました。大手旅行サイトのコーポンが高額でした。今後においても増額に向け、環境整備をしていきたいと思えます。

5 最終処分場の延命化後の取組策

問 中間処理施設について、近隣自治体との協議はどのように

進んでいるのか伺います。

田中村長 富良野市を除く近隣4自治体と若干の協議は実施しています。中間処理施設の話が前に進まなければ、新たな埋め立て地の検討に入れない状況ですので、今後も課題を共有する自治体と連携を図っていく考えです。

小林 潤 議員

1 保育・預かり事業の拡大

問 令和3年度中にトママ保育所の改修で1歳児用の部屋が確

保でき、令和4年4月には中央、トママの両保育所で1歳児の保育がスタートできるという考えでよろしいか伺います。

また、0歳児を預かれる部屋も整備されるということです。保護者のニーズをどのように把握しているのか伺います。

田中村長 現状、2歳児からの保育は既に行っていますが、1歳児保育については預かりということ、今年度、整備が終わればトママ保育所で実施することになります。

0歳児保育希望の把握ですが、第2期子ども子育て支援事業計画を令和2年3月に策定しており、その時のアンケート調査では3名の希望者がいました。

2 GIGAスクール構想

問 GIGAスクール構想によるICT教育を推進し、児童生徒の学びの機会を確保するため、一人一台端末の整備をはじめ、休校期間中の遠隔授業などにも対応できる環境整備とは具体的に、どのような機器を整備するのか伺います。

田中村長 村内各学校から聞き取りを行った結果、通信ネットワーク環境よりも、一人一台端末の更新や電子黒板などの備品整備の要望がありました。

具体的には、一人一台端末タブレット、電子黒板、電子黒板用のパソコン、インターネット通信用力メラ、スピーカー、その他必要なサーバーシステムを



占冠保育所のクライミングウォール

整備し、将来的には通信ネットワーク環境をメインとした事業の実施も予定しています。

問 学校が休校になった時、ICT機器を活用すれば、それなりの学習効果が得られるという認識で良いのか伺います。

三浦企画商工課長 休校の際の遠隔授業は可能であると考えています。ただし、遠隔授業ができるように先生方の研修等も必要になる可能性があります。また、通信ネットワーク環境が古いままでですので、今後、状況を見て改善すると思います。

五十嵐正雄 議員

1 林業政策の総括

問 執行方針を作るにあたって、関係者が集まって、取組みの総括がなされて方針が決定されたのか伺います。

田中村長 関係担当係の議論を踏まえて作成しました。

2 林業労働者担い手対策

問 若い労働者がせっかく働き

に来て、事業者だけの努力では限界があります。村として林業に特化した施策が必要ですが、その取組みについて伺います。

田中村長 福利厚生事業等は、引き続き実施していきます。特

化した事業は、担当課とも検討し、また、働いている人たちとも話し合う場を設け、生の声を聴き、政策に生かしていきます。

3 木質バイオマス生産組合

問 関わっている事業者は、それぞれ本業があり、専門的に関わりが持てません。生産組合の体質改善、経営改善を図らなければ発展は望めません。どのように進めていくのか伺います。

田中村長 一つの事業者としての体を成すように、村としても主導的に関わりを持ち、何とか体質改善、経営改善を図る必要があると認識しています。

4 地域森林整備推進協定

問 この協定の最終目標は、なんとしても国有林で、村の事業者が仕事をできるようにしていくことではないかと考えますが、考えを伺います。

田中村長 占冠の林業を成長産

業として育てるためには、国有林も含めた林業育成が必要です。国有林の事業ができるよう、事業者の育成を考えていきます。

5 道の駅民地買取

問 花壇として使用しているところは民地であり、早急に買い上げができるよう交渉を進めることになっていますが、現状を伺います。

田中村長 賃貸契約を結んで、使用料をお支払いするところまで進んでいます。購入に向けて、金額提示まではしています

が、コロナ禍の中で、直接会って話することができませんでした。難しいですが、出向いて協議をさせていただきます。

6 自主防災組織

問 防災訓練の参加者の状況は、健康者が中心で、人の手を必要とする人たちが参加していません。そのような人も自主防災組織の中で、防災訓練に参加できるようにしなければならな

いと思いますが、考えを伺います。

の名簿等は個人情報であり、町内会には出せません。それを乗り越えられる方策もあると思いますので、踏み込んだ議論を防災組織ともさせていただき

7 トマム保育所改修工事

問 村には地域材活用指針があります。地域材・道産材を活用した改修工事が行われるのか伺います。

田中村長 村の公共施設においては、地域材・道産材を使うということが基本的方針です。極力、占冠保育所建設時に余った地域材と、道産材の利用で、木造に配慮した施設にします。



改修工事予定のトマム保育所

教育行政 執行方針質疑

▼主な施策

1 学校教育の充実

- 確かな学力の育成
- 豊かな心の育成
- 健やかな体の育成
- 地域とともに歩む学校づくりの推進
- 就学機会への支援

2 社会教育の充実

- 家庭教育の推進
- 生き生きと学ぶ生涯学習の推進
- 芸術・文化の振興
- スポーツの振興
- 社会教育施設の充実

※執行方針の詳細は、村広報4月号に掲載されています。



下川 園子 議員

1 GIGAスクール構想の実現とICTの推進

問 ICTの導入は早くから進んでいます。活用方法が進んでいない状況と感じます。

各先生方が通常業務内で、ICTを有効に使用するための勉強を進めるには限界があると感じます。専門的な方に活用法を提案いただくと、より進むと思いますが、考えを伺います。

藤本教育長 本村では、GIGAスクール構想とは別に、村単独の事業として生徒一人にタブレットを配布し、タブレットを活用し、電子黒板、デジタル教科書で授業をしています。先生方には、校内研修等も含め、活用方法の勉強をしていただいています。

今後の検討課題として、外部講師として来られる方がいるかなども含めて、少しでも活用がスムーズにいつて、それぞれ教師、児童のためになるように進めていきたいと思っています。

2 放課後キッズスペース

問 トナム地区での開催をどのように考えているか伺います。

藤本教育長 児童生徒数が少ない中で、こういった形でいいのか、内部で協議をさせていただきます。



放課後キッズスペース

3 スポーツ振興

問 スポーツ観戦の機会の提供や、トップ選手との交流、教室などを実施することで、スポーツに関心や興味を持てるように取り組むということですが、スポーツをしていない人にも、スポーツに興味を持ってもらうと

いうことが必要になるのではないかと思います。

今まで、トップ選手との交流や教室などは、所属団体のある方たちが交流できるものであつて、実際、スポーツに触れていない方、スポーツに触れていない子どもたちには、交流の場は無かつたと思います。

団体に所属していない方にもそういった機会を持つべきだと思いますが、考えを伺います。

藤本教育長 クラブ活動ではなく、学校の総合学習などで、そういった方々をお招きして、実際に選手と触れ合うような機会を作っていくということも可能ですので、今後、そういったことも含めて検討したいと思っています。

大谷 元江 議員

1 人権教育

問 自他を尊重する思いやりの心を育成するため、学校教育活動全体を通じた人権教育の充実とありますが、人権教育の内容を伺います。

藤本教育長 人権教育委員会で

の取組みが占冠中学校で行われています。内容は、命を大切にしている教材を使って進めています。

2 生涯学習の推進

問 コロナ禍、また、人口減少で参加する人数も少なくなつていますが、生涯学習の推進をどのように進めていくのか伺います。

藤本教育長 インターネットを活用した異文化の紹介等ができればと考えていますし、三密にならないようスペースを取つた中で、コミプラ等を活用した方法がないか検討していきます。

五十嵐正雄 議員

1 道德教育

問 私は1946年、平和憲法が公布された年に生まれました。小中学校の義務教育では、戦前の道德教育の反省に立った民主主義や平和の尊さ、人権について徹底的に教育されました。しかし近年、道德教育が徐々に復活し、教科にまでなり、戦

前回帰を思わせます。

執行方針で、道德性を養うために、考え、議論する道德を実践するとありますが、どういうことか伺います。

藤本教育長 学習指導要領に沿つた方針で書いています。

2 和太鼓の活用

問 村には立派な和太鼓のセットがあります。活用について伺います。

藤本教育長 コミプラに和太鼓セットがあります。公民館の関係で、道南の方に、今後教えていただく機会があれば、講師として呼んで、指導していただくように連絡しました。1回でも2回でもいいから実施できるように取り組みます。



求められる和太鼓の利活用

議会事務局職員紹介

4月1日付けで事務局員が変わりました。事務局体制は次のとおりです。

事務局長 岡 崎 至 可

事務補 三ツ谷 陸 翔 (新)

よろしく願いいたします。

藤岡 幸次 議員



▷ 新型コロナワクチン接種、対象高齢者3月中資料送付

▷ 農協、占冠退去後の建物活用未定

1 脱ハンコの取組み

問 国の進めるデジタル化の一環として、ハンコの廃止が官民で推奨されています。本村における庁舎内事務作業の効率化、住民サービスでの脱ハンコ取組みについて伺います。

田中村長 4月より押印が必要な手続のリストアップ、押印を求める合理性、法令等の根拠の確認を進めます。条例の見直しでは、一括改正に向けて検討していきます。議会への提示は、早ければ12月、少なくとも年度末の3月までには行いたいと考えています。

問 学校現場における保護者との通信、教職員室内での脱ハンコの取組みを伺います。

藤本教育長 保護者との通信では、通知表の受領確認と進路業務での高校受験確認に押印を必要としています。教職員間では、出勤簿と休暇処理簿に押印しています。今後、不要なものについては、オンライン化も含めて、廃止を検討していきたいと考えています。

2 新型コロナワクチン接種

問 新型コロナワクチン接種の実施方法とスケジュール、事前訓練の身について具体的に伺います。

田中村長 事前準備として、ワクチン接種の説明資料、クーポン券、予診票等を同封して本人宛に送付する予定です。4月中に65歳以上の高齢者に対して、ワクチン接種実施となると考えています。

シミュレーションは、診療所において医師、看護師、保健師、役場職員を含めた関係者で実施する考えです。

問 状況が日々変わる中で村民に対する情報発信はどう実施するのか伺います。

田中村長 情報提供については、行政区回覧、新聞折込等を検討し、混乱が起きないように努めていきます。

3 消防団員の加入促進

問 消防団員のなり手



占冠消防団

不足と高齢化対策が全国的な課題となっています。中型車、大型車免許取得の経費補助についての考えと、その他の入団促進策があれば伺いたいと思います。

田中村長 本村も消防団員の数が定数に満たない状況が続いており、大型免許取得者の確保が課題となっています。令和3年度から近隣自治体が中型免許取得に係る経費の助成制度を運用することですので、先進消

防団の動向を見ながら制度内容を検討したいと思います。

役場職員の入団は平成9年から許可しており、加入促進については、配慮していきたいと思っています。

4 富良野農協占冠出張所、廃止後の活用方法

問 富良野農協エリア化に伴い占冠出張所が廃止となりました。今後における農協建物の活用の方を伺います。

田中村長 2階会議室と和室は、寄贈者の意向に沿って、農業者の皆様に優先して利用していただく考えです。店舗部分は今までどおり、既存法人と賃貸契約して利用することで合意していますが、結論に至っておりませんが、今後、商業施設や飲食店舗など民間での活用も検討していきたいと思っています。

問 建物にシンボリックな名称をつけて、今後の展開を図っていく考えはないか伺います。

田中村長 この施設をどう利用、活用するかはまだ結論が出ていないため、関係者と相談をしながら最終判断をしたいと思っています。

令和3年度予算総額 34億50万円を議決 (令和2年度比8.23%増)

令和3年度 各会計別予算

会 計 別		予 算 額	前 年 度 比
一 般 会 計		28億1,400万円	11.23%
特別会計	国 民 健 康 保 険	1 億 3,460万円	▲ 15.93%
	村 立 診 療 所	8,220万円	▲ 0.60%
	簡 易 水 道	1 億 70万円	▲ 16.85%
	公 共 下 水 道	1 億 1,720万円	27.81%
	介 護 保 険	1 億 1,150万円	▲ 4.70%
	後 期 高 齢 者	1,860万円	3.91%
	歯 科 診 療 所	2,170万円	1.40%
予 算 総 額		34億50万円	8.23%

予算特別委員会（下川委員長）
を3月10日に開催し、活発な質疑
が展開されました。質疑の内容を
お知らせします。

（傍聴者1人）

一般会計

◎歳入

問 法人事業税交付金を新設した理由を伺います。（小林議員）

多田総務課長 平成28年の税制改正により、法人事業税の一部を都道府県から市町村に交付するということが創設されました。令和2年度から交付を受けており、令和2年度補正予算で科目を創設し予算計上していただきました。令和3年度も継続して交付されますので予算計上していただきます。

伴う交付税の参入分、特別加算枠で地域デジタル社会推進費が新設された分の増加も見込んでいます。

問 ふるさと寄附金の令和2年度実績は1850万円でしたが、令和3年度予算を1千万円とした理由を伺います。

三浦企画商工課長 令和2年度の実績が増加した要因は、旅行クーポンの実績が675万あったためです。令和3年度は、旅行クーポンを取りやめる通知が



ふるさと納税返礼品

あり、その点を考慮し、確実な分を計上しました。

再問 新年度の取り組み方の考えを伺います。（藤岡議員）

三浦課長 占冠産の和牛をメニューにできれば良いと考えているので、農家さんと協議したいと思います。また、地元の特産品も順調に伸びているので、協力していきます。

問 占冠村公共施設等維持管理基金繰入金、国際交流基金繰入金の予算額が0円の理由を伺います。（藤岡議員）

多田課長 占冠村公共施設等維持管理基金繰入金は、対象事業がなくゼロ計上です。

国際交流基金繰入金は、令和2年度に予定していた事業がなく、この繰入をそのまま積んでいるので、今回改めて基金繰入をする必要が無かったことからゼロ計上となります。

◎歳出

〔総務費〕
問 総務管理費の消耗品325万4千円の内容を伺います。

多田課長 防災関連の消耗品が

（藤岡議員）

多くなっています。備蓄消耗品として、アルファ化米、飲料水、毛布、段ボールベッド等となっています。その他、一般の消耗品を計上しています。

問 防災無線整備委託業務の新設理由を伺います。(藤岡議員)

多田課長 村の防災無線、公用車、除雪用の機械に搭載していた機器がかなり古くなっています。無線機、アンテナ等を全て更新するため、300万円を計上しています。



段ボールベッド

問 防災備蓄用備品購入費の内容を伺います。(五十嵐議員)

多田課長 災害対策用のトイレハウス2台、折り畳みトイレの台座2台、避難所用の間仕切り8台を計画しています。

問 トマム地区公園整備工事費250万円の内容を伺います。

平川トマム支所長 子どもたちや保護者の方が休める東屋の設置や、斜面を利用した遊びが要望にありましたので、その内容を検討します。

〔民生費〕

問 公共交通空白地運送サービス利用料助成金10万1千円は何回分を想定しているか伺います。(小林議員)

木村福祉子育て支援課長 札幌へ6回のほか、過去の実績分を考慮して予算計上しています。

問 在宅福祉推進事業委託料が減額されている理由を伺います。(小林議員)

木村課長 緊急通報シス

テムを順次新しい会社の製品に替えていくので減額計上しています。

問 児童福祉総務費に関連する子育て応援事業が大幅増額した理由を伺います。(小林議員)

木村課長 令和2年度の利用が多かったことから増額計上しています。



学童保育

問 児童福祉総務費に関連した地域おこし協力隊の業務内容を伺います。(大谷議員)

木村課長 現隊員は地域包括支

援センターの仕事をしており、企画費で予算化しています。令和3年度計上分は、保育士を採用したく、資格を持っている方、また、任期中に資格を取得していたたく内容で募集しています。任期中は子育て応援に関する業務を行います。

〔農業費〕

問 農業振興費の中山間地域直接支払交付金600万円を計上していますが、対象農家戸数を伺います。(五十嵐議員)

平岡農林課長 対象者数は19経営体、1法人です。

問 道営草地畜産基盤整備事業負担金6090万円を計上していますが、本村の対象農家数と農家負担額を伺います。

平岡課長 予定では5戸、負担額は合わせて600万円となっています。

問 占冠村自然活用村指定管理料を減額した理由を伺います。

平岡課長 これまでの実績に基づき、予算計上しています。(藤岡議員)

問 熊・鹿駆除捕獲奨励金は前

年同様225万円計上しています。令和2年度は約140万円増額補正していることから、今回同額計上した根拠を伺います。(藤岡議員)

根本林業振興室長 熊5頭で15万円、鹿300頭で210万円を計上しています。年次によって、捕獲量がかなり違っていても、令和2年度は最終的に500頭程度の予定で、捕獲の規模を縮小するつもりはありませんが、まずは例年通り300頭を目標に設定しました。

問 炭焼小屋産業廃棄物処理委託業務203万5千円を計上しています。既に解体・整地を終えているのに、今回新たに産廃処理料を計上した経緯を伺います。(藤岡議員)

根本室長 解体後、コンクリートや埋まっているもの等、産廃の量が確定したため、新年度で予算計上しました。

問 林業・作業道等草刈業務委託料224万4千円の内容を伺います。(五十嵐議員)

根本室長 13路線、40kmの草刈りを予定しており、優先度合いを見ながら設定しました。

問 人工造林（新植）工事の内容を伺います。

（五十嵐議員）

根本室長 二二ウ地区9林小班3.4 haの1記番の造林を計画しており、カラマツコンテナ苗を植える予定です。

問 保育下刈工事費の内容を伺います。（五十嵐議員）

根本室長 20記番、約13 haを予定しています。

問 保育間伐工事費643万3千円の内容を伺います。（五十嵐議員）

根本室長 6記番、約17 haを予定しています。

問 林業生産基盤整備道開設伐開工事165万円内容及び、道営森林管理道アリサラップ支線開設事業負担金1250万円の工事期間を伺います。

（五十嵐議員）

根本室長 両事業とも同様の箇所です。500 mの工事を予定しており、出材量で100立方程度を予定しています。造林地が多く、細かいものが多い状況ですので、出材量が下がると思いますが、薪原料として供給し

アリサラップ林道



たいと思います。
道の予算の関係で工事期間が延びており、令和5年までの計画書が出ています。

問 未来につなぐ森づくり推進事業補助金320万円の内容を伺います。（五十嵐議員）

根本室長 春は個人所有等の山林の9 ha、秋は大きな企業体の社有林等の予定しており、合計で16記番、15 haの造林を予定しています。

〔商工費〕
問 湯の沢温泉指定管理料とし

て1200万円が計上されています。昨年より100万円増額している理由を伺います。

（藤岡議員）

三浦企画商工課長 コロナウイルスの影響で客が激減しており、新年度においては、その支援も必要との村の判断で増額計上しました。

再問 コロナが収まった段階においては、指定管理料の減額、圧縮に向け取り組みでいく認識なのか伺います。（藤岡議員）

三浦課長 利潤が上がれば減額していきたいと考えています。コロナが落ち着き、収支が安定してくるようになれば、減額協議を行います。

問 観光協会運営補助金を増額計上している理由を伺います。

（藤岡議員）

三浦課長 職員2名分の人件費定期昇給分、福利厚生費の増加が要因となっています。

再問 増額に反対と言っている訳ではないのですが、ヒアリング等を行い、自助努力を求める必要があると考えますが、伺います。（藤岡議員）

三浦課長 随時ヒアリングを行

いたいと考えています。

問 地域企業振興事業補助金を210万円計上しています。昨年より110万円減額となった理由を伺います。

（小林議員）

三浦課長 雇用支援の対象者が減少しました。新規採用から3年間助成金を交付することになっていきますので、終了した分が減額となっています。

〔土木費〕

問 道路維持費の修繕料768万3千円の内容を伺います。（大谷議員）

小林建設課長 予算計上のうち、200万円が道路に係る部分、それ以外は重機の手検や修繕等に要する費用となっています。

問 道路維持費委託料で、除雪委託やその他管理委託等、区分けをして予算計上している理由を伺います。（大谷議員）

小林課長 除雪や村道維持管理等は、それぞれ委託しているため、業務ごとに区分けをしています。

問 橋梁維持費の調査・測量・設計委託料1550万円の内容を伺います。（大谷議員）

小林課長 橋梁法定点検委託業務として10橋の点検950万円を計上しています。橋梁長寿命化修繕計画策定業務として本村全ての橋梁（47橋）の修繕計画600万円を計上しています。



宮下橋

〔教育費〕
問 会計年度任用職員（AL T）の報酬が前年より減額と

なつた理由を伺います。

(小林議員)

合田教育次長 令和2年度から住宅が変わつたことから、住宅手当の差額で減額となりました。

問 義務教育振興費で、特別支援員、学校支援員を予算化していますが、配置状況を伺います。

(小林議員)

合田教育次長 特別支援員はトマム学校に2名、学校支援員は中央小学校を主に活動していただきますが、3校兼任で支援していきます。

問 奨学資金貸付金1500万円の内容を伺います。

(小林議員)

合田教育次長 継続者21名と新規10名を予定しています。

問 教育振興費の消耗品費が大幅増額している理由を伺います。

(藤岡議員)

合田教育次長 令和3年度の教科書一斉改正に伴う教師用の指導書を購入するものです。

問 小学校費の学校管理費、中



学校用備品

学校費の学校管理費、教育振興費、それぞれ備品購入の内容を伺います。

(大谷議員)

合田教育次長 中央小学校は、設営が簡単なテント7万2千円、レーザープリンター7万2千円。

トマム学校は、充電式クーラー1万6千円、電子ピアノ20万4千円。

占冠中学校はスピーカー12万7千円、AEDバッテリーバック3万3千円、高跳び用マット12万8千円となっています。



村立占冠診療所

村立診療所特別会計

問 診療報酬収入が前年より減額している理由を伺います。

(藤岡議員)

小尾住民課長 コロナウイルス感染症の影響により、受診控えが顕著に表れています。昨年の秋から、一日の診療時間のうち、午前中を一般診療、午後から発熱外来という形をとっており、現状の分析から減額の予算計上としています。

一般質問の発言回数(件数)【令和元年6月～令和3年3月】

一般質問は年4回の定例会において行われ、執行機関の長(村長・教育長)と政策について議論します。質問の範囲は村の行財政全般にわたり、政策の見直しや新しい政策を提案することがあります。

発言項目	大谷 (副議長)	藤岡	五十嵐	山本 (R1.11.4退任)	下川	小林	児玉 (R3.2.9～議長)	相川 (R3.2.9議長、 R3.2.27退任)
防災・防犯	2	5			2		1	
福祉・子育て	1							
医療・保健衛生		1		1	3		2	
労働						1		
農林業		2	4			1	1	
商工観光		2			1	2	7	
住宅・環境	1	3	1		1	4	4	
教育	1	2			2	1	2	
地域振興		2	3		1			
交通対策	1			1	2			
その他	1	4		1		1	1	
計	7	21	8	3	12	10	18	0

議員の主なうごき

令和2年第6回定例会（12月10日～11日）以降の議員の動向

- 12月11日(金) 広報特別委員会①(各委員)
 1月 7日(木) 広報特別委員会②(各委員)
 9日(土) 令和3年占冠村成人式(副議長)
 14日(木) 広報特別委員会③(各委員)
 2月 3日(水) 全員協議会(各議員)
 9日(火) 令和3年第1回占冠村議会臨時会
 上川町村議会議長会定期総会(旭川市一議長)
 富良野地域人材開発センター連絡会議
 (中富良野町一正副議長)
 富良野沿線市町村長・正副議長合同会議
 (中富良野町一正副議長)
 24日(水) 総務産業常任委員会(各委員)
 25日(木) 議会運営委員会(各委員)
 3月 1日(月) 前占冠村議会議長 故相川繁治様通夜(各議員)
 2日(火) 前占冠村議会議長 故相川繁治様葬儀(各議員)



春の交通安全運動

【広域連合関係】

- 1月29日(金) 富良野広域連合議会勉強会(下川議員、小林議員)
 2月16日(火) 議会運営委員会(富良野市一児玉議員、小林議員)
 19日(金) 富良野広域連合令和3年第1回定例会(富良野市一児玉議員、下川議員、小林議員)

議会はどなたでも気軽に傍聴することができます



児玉議長

傍聴するのに特別な服装や準備は必要ありません。途中入場や途中退場も自由です。傍聴人は自由に写真やビデオを撮ったり、録音することができます。議場は総合センター（役場庁舎）3階です。お気軽においでください。

※感染症対策により、入場時には検温とマスクの着用をお願いしています。



大谷副議長

今後の
予定

6月定例会 → 6月16日(水)・17日(木)

※いずれも午前10:00開会

※議事内容等により、日程を変更する場合があります。

編集 後記

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中で、新たな変異ウイルスが発見され、ますます混乱が続いております。ワクチン接種が大幅に遅れ、政府の無能・無策だけが目立っています。自治体の取り組みが順調に進むよう、政府の責任ある取り組みを強く求めます。

4月末で、議員の任期が後2年となります。村民の選挙を得ずして無投票当選となり、議員活動をすめています。公約を読み返し、村民に約束したことがどれだけ実現しているのか反省し、残り2年の任期の中で、公約実現に向けて努力していかなければならないと考えています。コロナに負けず、生活を続けましょう。(五十嵐)

▼議会広報特別委員会(前期)

委員長 藤岡 幸次
 委員長 下川 園子
 委員 大谷 元江
 委員 五十嵐 正雄

広報からのお知らせ

各行事等では広報の取材・写真撮影をさせていただきます。広報への掲載をご承諾いただけない場合は、その場でお申し出いただくか事務局までご連絡ください。

発行：占冠村議会 責任者・編集：議会広報特別委員会

〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 TEL 0167-56-2191 FAX 0167-56-2184 URL <https://www.vill.shimukappu.lg.jp>